

北川かっぱの会

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

2015年 7 月 5 日

vol. 108

梅雨空
真っ盛り号

8/2(日) 北山わんぱく夏まつり まもなくです！



報告 土曜講座始まる 5/30 ヤゴ救出大作戦

今年も環境学習支援、小学校土曜講座が開講しました。第1回は北山小学校のヤゴ救出作戦。一生懸命ヤゴをすくって、公園の池に放したり、家で羽化を見守る。毎年人気の講座です。子ども26名、大人(保護者、先生、北川かっぱの会) 14名、合計40名が参加しました。

まず、副校長先生から「学校のプールにいるヤゴを授業の前に救い出してあげよう！」とお話があり、次にお母さんのひとりが紙芝居「トンボの一生」を素敵に読んでくれました。その後いざプールへ。最初は全然つかまえない子も、網の使い方を教えたり、ちょっとしたアドバイスでどんどんうまくなります。最初はこわくてヤゴをさわれない子も、最後には手でつかめるようになる子がほとんど。今年は大きなギンヤンマが主役で子どもたちが「カッコイー！」と言っていました。

救ったヤゴはギンヤンマ 571 頭、アカネ類 382 頭、シオカラトンボ & イトトンボ類が数匹。「はばたけ！夏の空へ」と放しに行きました。子どもがパワフルになるこの行事、わたし自身、今年も楽しむことができました。(久)

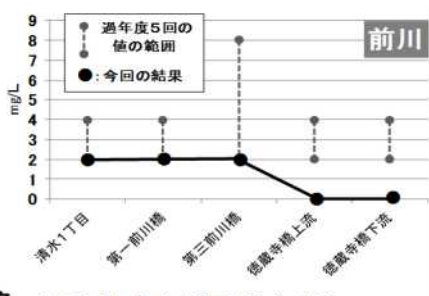
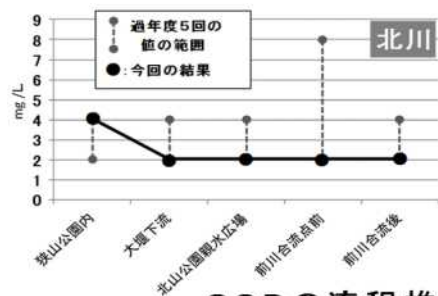
右写真は羽化したギンヤンマ

報告「全国一斉水質調査」に参加しました

6月7日(日)に、国交省、環境省後援の全国一斉水質調査に参加した報告です。北川かっぱの会担当の北川と前川は、空堀川や埼玉県から流れ込む東川とともに、荒川・隅田川水系新河岸川の支流に当たります。当日は小学2年生や久々の仲間の参加もあって、総勢8名が3班に分かれて、北川と前川各5地点(例年通り)で水質調査を行いました。

調査場所では、水温や流量推定のためのデータをとった後、水を持ち帰り廻田公民館で透視度の測定やパックテストなどによる水質測定を行いました。パックテストというのは、予め試薬が封入されているポリチューブに調べたい水を吸い込ませて反応させ、その発色状況で水質を調べる方法です。

調査場所では、水温や流量推定のためのデータをとった後、水を持ち帰り廻田公民館で透視度の測定やパックテストなどによる水質測定を行いました。パックテストというのは、予め試薬が封入されているポリチューブに調べたい水を吸い込ませて反応させ、その発色状況で水質を調べる方法です。



CODの流程推移 (両図とも右が下流方向)

【調査結果の概要】COD：動植物由来の有機物量(汚れ)の目安ですが、狭山公園が4 mg/Lであった以外、すべての地点で2 mg/L以下でした。前川の下流側では初めて0 mg/L(ほとんど無い)という結果がでました。
EC：導電率ともいい電気の通り易さを示し、単位は μ S/cm、最終処分場のゴムシートからの汚染水漏れの診断などでよく耳にする項目です。主に水に溶け込む無機物量の目安となり、雨水で10 ~ 30、河川の上流で50 ~ 100位です。今回、前川は200前後、北川は最上流で159であったものの、他の地点は260 ~ 270でした。

$\text{NO}_2\text{-N}$ (亜硝酸性窒素)と $\text{NH}_4\text{-N}$ (アンモニア性窒素)：単位は mg/L。今回 $\text{NO}_2\text{-N}$ が 0.005 ～ 0.05 (前川 清水 1 丁目)、 $\text{NH}_4\text{-N}$ が全地点 0.2 でした。これらは有機物の多い汚れた水で多く、酸化されて $\text{NO}_3\text{-N}$ (硝酸性窒素) になります。これら窒素分は流れの先の海や湖の植物プランクトンの栄養になり、多すぎて「富栄養化」状態となると「赤潮」の原因になります。 $\text{NH}_4\text{-N}$ の例では上流のきれいな水で 0.05 以下、下流の汚れた水で 0.5 ～ 5 位とのことです。なので、今回は良い値と考えます。

透視度：濁りの程度を測ります。内径 3 cm の透明な管に調べる水を入れて、底にある基準となる目印の見える深さを調べます。今回北川の大堰下流で 62.5cm であった以外、他の地点では 100cm を超えていました。



【まとめ】今年度も、何れの項目ともかなり良い値でした。前々日から前日にかけて降った 40mm 前後の雨 (きれいな水) の恩恵も大きいと思われます。カルピスをいつもの 2 倍の水で作ると「味」が半分になると似てます。やはり湧水など日常的にもっと水量を確保したいところです。(康)

予告 8/29-30 カヌーキャンプ参加者募集！

親子や仲間と存分にカヌーを楽しみませんか。

荒川の「玉淀」は川の流れも遅く、浅瀬で初心者向けのコースです。カヌーの乗り方について指導します (カヌー5艇程度やライフジャケット等は準備します)。先着 10 組程度まで受付予定。

●日時；8月29日(土) 13時～30日(日) 12時

日帰りでの参加も可。雨天や増水時は中止(かっぱブログに掲載)

●場所；荒川「玉淀」河川敷(国道 254 号線玉淀大橋を目標、駐車料金 300 円)

最寄り駅：東上線鉢形駅 ●集合；現地集合、現地解散。保護者同伴を前提。

●「川の生き物調査中 北川かっぱの会」のノボリを立てます。

●宿泊する場合には、各自でテントや食事を用意。世話人用のテントを設置し、焚火を実施予定。●河原から離れていますが、コンビニや食堂、トイレもあります。

●現地の状況、カヌー関係のご質問は uribo_f@yahoo.co.jp 宮田あて、その他の質問、参加申し込みは CZT12221@nifty.ne.jp 清水あて、メールでお願いします。参加者には、スケジュール、持ち物など詳細をお知らせします。



予告 8/2(日)第20回 北山わんぱく夏まつり

今年も「北山わんぱく夏まつり」の季節がやってきました。子供たちとともに、楽しい夏の日をすごしましょう。サポーターも含め、多くの方の参加をお待ちしています。なお、夏まつり関係の最新情報は、「かっぱブログ（検索；北川かっぱの会）」に掲載します。

10時～16時 （雨天中止；中止の場合は「かっぱブログ」に掲載）

会場 北山公園親水広場周辺、八国山

遊びメニュー カヌー体験、北川
ウォーク＋魚とり、ザリガニ釣り、
八国山虫とりハイク、北川水族館、
昆虫標本展示、草笛、紙芝居、木工細工、
時空アドベンチャー ミニ宝探しなど

展示・解説 北川の環境 20年展

出店：飲み物他

紙芝居オジサン
が今年もやって
くるよ。



準備日程

ボランティア募集 性別、年齢、経験不問。

HP、ブログ（検索；北川かっぱの会）または直接会員にお知らせください

7/18(土)17:00～18:30 夏まつり実行委員会（茫々亭）

7/25(土)9:00～10:00 北川の堰き止め作業（ボランティアにより実施）

8/1(土)13:00～ 準備作業（北山公園他）

テント・椅子・テーブルの搬入、ザリガニ釣りの竹竿製作、カヌー会場の整備、立て看板の製作、印刷作業他

8/2(日)8:30～17:00 テント建て、カヌー乗船補助、釣り竿作り、

魚捕り補助、外来生物捕獲・解説、後片付け他

8/3(月)9:00～10:00 北川の堰撤去作業（ボランティアにより実施）





2015年 7月～9月 活動スケジュール

ホ は **ボランティア募集** の略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつばの会)

または直接会員にお知らせください

夏まつり実行委員会

7/18 (土) 17:00～18:30 (茫々亭)

実施内容の最終打ち合わせです。

第20回北山わんぱく夏まつり **ホ**

8/2 (日) 詳細は左ページ参照

カヌーキャンプ

8/29 (土) ～8/30(日)

詳細は 3 頁参照

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

7/11, 8/8, 9/12(土) **ホ**

集合: 北山小正門前

北山公園しょうちゃん池の **ホ**

アカミミガメ等駆除 小雨決行

(カゴアミ仕掛けと回収、各 30 分程度)

7/17 (金) 16:30

7/18 (土) 9:00、16:00

8/ 1 (土) 9:00、16:00

8/ 2 (日) 10:00

9/11 (金) 16:30

9/12 (土) 9:00、16:00

多摩湖緑地・原風景を守る会

活動日程

7/15 (第3水曜) 13:30 ～

18 (第3土曜) 13:30 ～

8/ 2 (第1日曜) 9:00 ～

19 (第3水曜) 13:30 ～

畑にて維持管理作業&収穫

川端会議 9/5 (土) 10-12時

ふるさと歴史館。北山公園周辺の環境整備について、市、市民、市民団体の話合いの場。誰でも参加可能です。

小学校土曜講座 **ホ**

会員皆さまのご協力をお願いします。

北山小・八国山虫とりハイク

7/18(土) 午前 5:00 ～ 7:30

北山小正門前集合、雨天中止

北山小・北川の魚とり

9/5(土) 9:30 ～ 12:00 北山小正門前集合

富士見・南台小 北川にいこう

9/5(土) 10:30 ～ 15:00 北山公園

北山小・トンボとりとヤゴしかたづくり

9/19(土) 9:00 ～ 12:00 北山小集合

かつば定例会

9/19(土) 17:00 - 19:00 (茫々亭)

10月～12月頃の活動予定と新規に作成するパンフレットを中心に検討します。

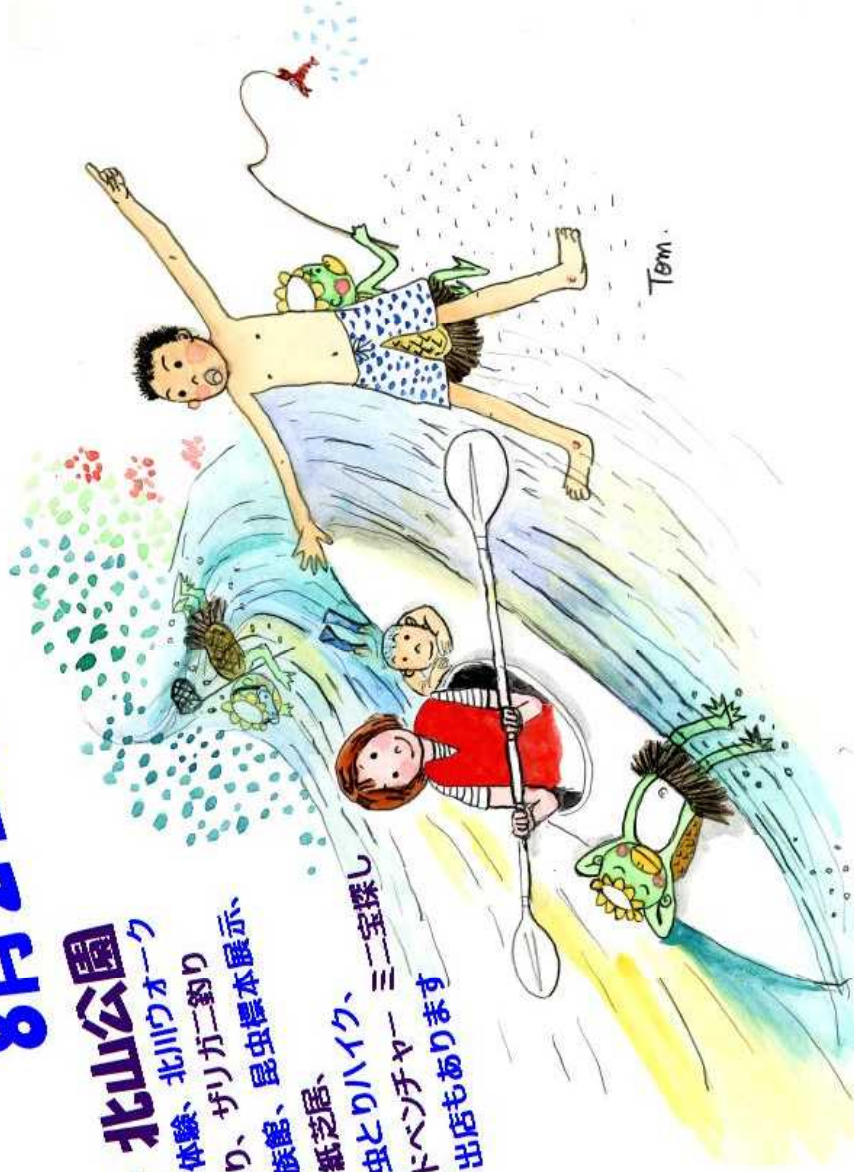


第20回 北山わんぱく 夏まつり

8月2日(日)10時~16時
雨天中止

at 北山公園

カヌー体験、北川ウオーク
+ 魚とり、ザリガニ釣り
北川水族館、昆虫標本展示、
箏笛、紙芝居、
八国山虫とりハイク、ミニ宝探し
時空アドベンチャー
ほか、出店もあります



主催：第20回北山わんぱく夏まつり実行委員会

後援：東村山市・東村山市教育委員会・国土交通省荒川下流河川事務所
柳瀬川流域ネットワーク・新河岸川流域川づくり連絡会

NPO法人ソーシャライズ&クロバーの仲間たち

東村山市みどりの楽校・北川かっぱの会

連絡先：北川かっぱの会のホームページ

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>



夏の虫、そして鳴く虫の代表と言えばセミでしょう。八国山の森では蝉しぐれのように多くのセミと出会えます。



▲アブラゼミ

最初に現れるニイニイゼミは、梅雨の中頃に「チー」という声が聞こえ始めます。ほぼ同じ頃からヒグラシも現れます。明け方や夕暮れ時など、薄暗い時に「カナカナ」と鳴きます。東京都のレッドリストに記載され、北多摩では数は少ないとされています。そして、梅雨の終わり頃から盛夏に最も目立つのはアブラゼミです。街中でも「ジリジリ」と鳴くのが聞かれますが、実はセミの中では例外的に全体が透明ではない（茶色い）翅をしています。

この頃には、ミンミンゼミも現れます。名前の通り「ミンミン」鳴き、きれいな緑の体をしています。最後にお盆の頃になるとツクツクボウシが現れ、これも名前の通り「ツクツクボウシ」と鳴きます。その他最近では、温暖化のせいかまれに南方のセミ、クマゼミの「シャンシャン」という声を聞くこともあります。



▲ツクツクボウシ

いずれのセミも鳴くのは成虫のオスで、幼虫時代は地中で数年間を過ごしています。東京都心でもアブラゼミやミンミンゼミの声をよく聞きますので、セミは人々に最も身近な昆虫と言えるでしょう。（ビー永島）

報告 川端会議と

八国山緑地生物多様性保全利用計画検討会

5月16日（土）北山公園整備計画等意見交換会（いわゆる「川端会議」；市主催）が開催され、北川かっぱの会からは4名が参加しました。

市より今年度の北山公園関係の新規委託業務として、①水量確保検討業務と、②生物調査及び保全検討業務が採択されたと説明されました。

2つとも、この会議で要望されてき

たもので、公園の自然環境保全が一步前進しそうです。②の生物調査及び保全検討業務では、北山公園に生息、生育する両生類、爬虫類、魚類、希少な植物を中心に、その現状を把握し、希少種も含めた在来生物の保全の方策をまとめようとするもので、とても意義深い事業です。

一方、今年は東京都主催で、「八国

山緑地生物多様性保全利用計画検討会」が開催されることになりました。これは、都が多様な生物が生息する八国山緑地としていくための計画を策定するにあたり、有識者や地域団

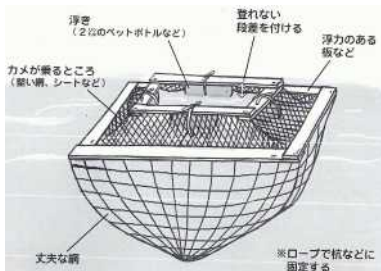
予告 アカミミガメの捕獲方法を変更します

北川かっぱの会では、一昨年より北山公園でアカミミガメの防除に取り組んでいますが、今年に入ってから捕獲数が減少しています。これは、捕獲が進み生息密度が低くなったことが原因と考えられ、捕獲方法を変更することにしました。7月上旬より「日光浴ワナ（池に常設、右図）」を仕掛ける予定です。

なお、9月下旬にはアカミミガメ防除講習会が開催される予定です

体、近隣住民からの意見や提案などを聞く場で、6月30日を皮切りに、3回の開催が予定されています。当会も参加し、意見交換を行っていく予定です。

（主催；生態工房、かっぱの会も協力）。北川流域の自然を外来種から守っていくために、皆様の参加をお待ちしております。



報告 第40回北川クリーンアップ

5月17日（日）、緑輝く陽春の中、クリーンアップを実施。4箇所の集合場所に約50名の参加がありました。

将陣場橋は、一番下流の出発点で北山公園まで上る工程です。途中3か所の落差工がありますが、今回、保生橋（新山手病院へ行く道）の落差工が橋脚補強の関係で低くなりました（右写真）。これで前川と北川合流点から約10m上流の落差工1か所が解消すれば、アユが北川に遡上できるようになるのですが・・・。

また、4cm位の子供のアカミミガメ（ミドリガメ）が川で見つかりました。川や池で繁殖している可能性があります。注意して見ていく必要があります。

大関橋の排水溝から白い水が流れ出ていました。生き物には害がないようですが、稀に週末になると流れ出ており、市でも原因を調べているようですが分かっていません。

前川、北川合流地点は、例年通り一番ゴミが多かったですが、全体的には少なくなってきたと感じています。（吉田）



寄稿 ホタルかんさつ 北山小学校 4-2 小山頼那

6月20日にわたしはホタルかんさつをしました。ゲンジボタルと言って日本にしかないホタルをかんさつしました。ゲンジボタルは昆虫で、川の近くに夜にでて、おしりが光っている昆虫です。そしてゲンジボタルのオスとメスの大きさは、オスが10~18mmでメスが15~20mmなのでメスが大きいうことが分かりました。オスの動きは、なるべく、ぐねぐねしてメスの所まで動きます。理由は、メスとオスがけっこんするためです。だから、メスはあまり動きません。成虫のゲンジボタルは何も食べません。



こんなにたくさんのことを調べて見ることができて良かったです。はじめてゲンジボタルを見られてうれしかったです。来年はホタルがたくさんいてかんさつできるようになりたいです。

報告 かっぱ探検隊 水源の山・笠取山へ

「かっぱの会で北川の本当の源流を見に行きませんか？」昨年末の茫々亭で偶然会った清水さんに提案したのが今回の山行のきっかけだった。

多摩川の源流、笠取山は奥秩父深くに位置する標高 1953 メートルの山だ。梅雨の晴れ間、七名で作場平登山口より入山。白砂の清らかな溪流、緑の絨毯のように地面を覆う苔、圧倒的な自然の濃さに目を奪われる。深い落葉樹の森を歩くこと二時間半、

主稜線に出る。二千メートルを超える山々が連なる奥秩父主脈。かなたには雲を抱く甲武信ヶ岳、目前には笠取の巨大な斜面が。山頂へは今回唯一の急登。喘ぎ登り、振り返ればそこには仲間が。



曇り空ながら眺望は良く、山頂で昼食をとりながらこの特別な場所を堪能する。

山頂を後にして三十分、目的地である多摩川の最初の一滴がしみ出す「水干（みずひ）」に到着。岩から滴り落ちる一滴は直ぐさま伏流し、少し下の斜面から湧き出す(写真)。多摩川最初の湧き水は、清らかで冷たくそして微かに甘い。この水が遥か北川まで流れてくるのだ。

素晴らしい山と仲間恵まれた今回の山行。苔と森と水の奥秩父を肌で感じ、北川の水源をこの目で確かめる事が出来た意義は大きい。(飛)

報告 南台・富士見小土曜講座・自然と遊ぼう「八国山にいこう」

6月20日、児童15人程が参加して八国山で虫捕りを楽しみました。八国山たいけんの里に集合後、最初に草地でバッタなどを探しました。この時期バッタはまだ幼虫ですが、多くのショウリョウバッタなどを捕まえることができました。

雑木林に入ると林縁環境でハムシ類、ゾウムシ類やコガネムシ類など、いろんな虫たちを見ることができました。

お昼休みはいつものようにほっこり広場でお弁当を食べましたが、今年は食後も草地で虫捕りを楽しむ児童が多く、ツバメシジミやベニシジミを

捕まえていました。

再び雑木林の中の道をたいけんの里に向かって進む途中、付添いのお母さんが大物を見つけました。樹の幹に大きなノコギリカミキリ（写真）がとまっていました。東京都のレッドリストにも記載される希少種です。



この日はいっ
たなく多くの目
で探すことがで
きたので、多く
の昆虫種を観察
することができ
ました。
(ビー永島)

報告 「落合川にいこう」

6/27(土)、東村山市内の北山小学校、南台小学校、富士見小学校の土曜子ども講座の児童、その保護者、総勢約30名で、東久留米市の落合川に行ってきました。落合川は、平成の湧水100選に東京都から唯一選ばれた南沢湧水を水源とした、たいへんきれいな川です。

天気予報では曇りでしたが、ときおり小雨がばらついてしまいました。

現地では東久留米川クラブの荒井さん(通称アラG)になにからなまでに世話になりました。

川に入るとちょっと冷たく感じられましたが、子どもたちにはあまり

関係なかったようです。タモ網を使って魚とり、巨大タイヤチューブのボート遊び、そして川への飛び込みも楽しんでいました。

毎年実施しているイベントです。子どもたちにも、大人たちにもとても



人気の落合川です。来年は太陽のもと水遊びを楽しめればとおもいます。

インフォメーション

会費納入のお願い

今回、新規に作成した振込用紙を同封させていただきましたので、最低限の活動を行なっていくためにも、会費(一般会員:年間 3000 円)のお振込をお願いいたします(既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください)。

2015 年より、新たに「支援会員(主にカンパで支援していただける方が対象で、2 年間で 2000 円(学生は 1000 円))」の区分を新設しました。振込用紙の該当欄に記入をお願いするとともに、これまで一般会員だった方々には、引き続き一般会員の区分で継続していただけますと幸いです。なお、りそな銀行あて送金される場合には、shot-1205@kjc.biglobe.ne.jp 吉田あてご一報いただけますと幸いです。

北川かっぱの会 会議日程

7/18 (土) 17:00-18:30

9/19 (土) 17:00-19:00 5頁参照

●新会員登録

小島孝司さん(東村山市)

野口町在住です。自然環境に恵まれたこの地域での活動を通じて生き物・植生等や生態系の仕組みを皆さんと楽しく学んでいきたいと考えております。宜しくお願い致します。

●編集後記 ヤゴ救出作戦で持ち帰ったギンヤンマのヤゴ3頭を飼育。1頭目はすぐに羽化成功。2頭目は共食いの犠牲になったのか行方不明。3頭目は小雨降る朝に羽化してしまい、1日じっと羽を乾かしていたものの、翌日、飛翔失敗し水槽に落ちそのまま落命。成虫になり子孫を残すまでの遠い道のり。虫から学ぶ命の尊さ。(遊星歯車)

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員:年間 3000 円
支援会員:2年間で 2000 円
学生は2年間で 1000 円
「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店

(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000 円 送料 82 円
新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』
北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価 200 円

『八国山・北山公園の
生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。
観察会などイベントで無償配布。

●発行:北川かっぱの会 連絡アドレス
CZT12221@nifty.ne.jp

